

2026年 春季号
第52号

みらい川崎市議会議員団
〒210-8577
川崎市川崎区宮本町1番地
TEL.044-200-3355
FAX.044-245-4135

おだかつPRESS
デジタル版
始めました。



みらい川崎市議会議員団 川崎市議会議員 立憲民主党

おだ かつひさ
PRESS

〒216-0003
川崎市宮前区有馬6-6-1 五十嵐ハイツ102号
TEL & FAX : 044-856-5456
E-mail: odakatsu90@gmail.com
URL http://odakatsu.com/



具体的な提言
確実な実行

教員確保策の強化と教職員が働きやすい環境の改善にむけて

～「未来を育む学校サポートプログラム」の実現で、川崎市の義務教育を充実発展させたい～

宮前区
ミライづくり
プロジェクト

2026年度がスタートしましたが、川崎市の教育現場では依然として、教員の「未充足」が解消できない状態が続いています。

「未充足」とは、教員の欠員や、出産や育児休業にもなる代替教員が足りない状況のことです。例えば小・中学校においては「担任が足りない」ことを意味します。

人材確保策の強化および教員が働きやすい環境改善は焦眉の急の課題です。

この3月末に、「未来を育む学校サポートプログラム」が策定されました。

これは、2026年度から2030年度までの「第3次教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針」で、国の「給特法」に定める実施計画に該当するものです。教職員の働く環境の改善を進めることを大目的としています。

とくに国の指針に定められた上限時間を超えた勤務時間になっている現状の改善は必須です。

時間外の「在校時間」を、月に45時間以下(現在は約4割が未達成)にし、かつ年に360時間をこえない(35%が未達成)ことを最大の目標としています。

これまで川崎市は、2019年度から2次にわたり業務改善の取り組みを進めてきました。しかし抜本的な改善にはほど遠いのが現状です。教員の成り手が少ないだけでなく、20代・30代の退職者数が40代・50代よりも多い深刻な状況が続いています。

そこで私は、今回の「未来を育む学校サポートプログラム」を策定するにあたり、「教職員の職場環境の改善」および「業務の負担軽減」のあり方について、教育委員会事務局に対し、具体的かつ効率的な改善を求め、積極的に意見交換や提案を行いました。

教員の「負担感」を把握することから

まずは、教職員の勤務実態調査の分析をしなくてはなりません。

これによると「負担感のある業務」として、「成績処理」「保護者・PTA対応」「調査・報告書作成等」「学校徴収金・就

学援助」「部活動、クラブ活動」などが小・中学校ともに割合が高いことが分かりました。

ちなみに中学校の「部活動、クラブ活動」は、「やりがいも高いが負担感も高い」との結果になっています。

以上の分析と提言から「負担感のある業務」の具体的な軽減策が「サポートプログラム」策定の目標となりました。

現場の教員から課題解決のヒントを集約

これまで、学校現場との実際の課題および意見の集約を教育委員会に提案して来ました。

やっと2024年度に、すべての小・中学校を対象に、校長・副校長・教頭・教務主任による意見交換会が実現できました。そこで出された意見を4つに分類しました。

- ①教育課程の編成による創造的な余白(行事の見直し、40分授業の導入、清掃回数の見直しなど)
- ②教員の負担軽減・業務改善(保護者対応の留守番電話導入、学校徴収金・会計業務の軽減、採点ソフトの導入・自動化など)
- ③児童生徒主体の学びへの転換(テストのあり方・評価のあり方、宿題のGIGA化、部活動等を生徒主体の活動へなど)
- ④教育委員会としての全市一律の仕組みづくり・環境整備(勤務時間の弾力化の導入、端末の一本化、保護者クレーム対応の外注化、水泳指導やワックスがけを含む清掃の委託化など)

以上から「負担感のある業務」およびその「改善策のヒント」の一応の整理ができました。

「学校と教師の業務3分類」の具体的な活用を

私はこれまで、教育委員会が学校ごとに自主的に改善を任せる姿勢に対し、強い違和感を持って来ました。

理由は、教育課程の編成については学校長に裁量権があること、さらには、学校にはそれぞれ良くも悪しくも伝統と慣例があり、地域との関わり方を含め、学校長の判断任せで改善を図ることに限界があると考えたからです。

そこで、「負担感のある業務」とその「改善策のヒント」の整理の成果を具体的に活かすことを目的に、文科省の示した「学校と教師の業務の3分類」に沿った「ある教員の一日モデル案」を教育委員会に例示させ、これを基に学校ごとに「時間外在校時間の縮減」を具体的に検討するように重ねて提案を行いました。

当初、「モデル案」ですら終業時間が20時であることを、まず教育委員会の内外に明らかにさせたこと自体が、現実を直視するという意味でインパクトがあったと感じました。

その後、教育委員会から「勤務時間内で全ての活動を取り入れること」及び「教育の質を高めること」が両立する内容を前提に、「ある教員の一日モデル案」を小学校、中学校それぞれ2ケースずつ提案させることができました。いずれも通常期の勤務の終了はおおむね17時となっています。

2026年度は、このモデルケースを各学校が参考とすることで「時間外在校時間」の縮減に努めることが期待できます。

「負担の軽減」の先行策を学ぶ

先に整理した「負担感のある業務」の改善のあり方について、他都市の先行事例などの調査、研究を行い、教育委員会に提言を行いました。

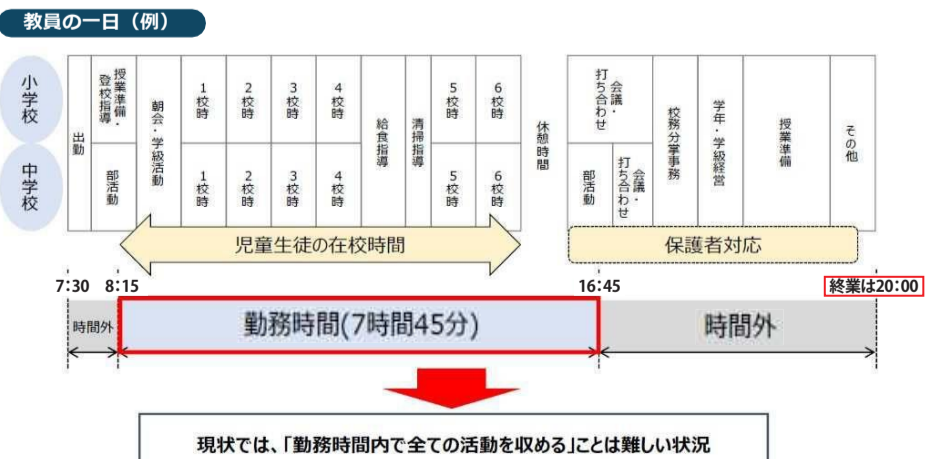
まず、「成績処理」についてです。これはICTの環境整備と不可分の関係にあります。

視察した福岡市では、2023年度に「デジタル採点システム」およびスキャナー機能とカラー印刷が可能な「高機能複合印刷機」をすべての小・中学校に導入しました。採点業務の効率化だけでなく、成績データの集計、分析による学習履歴を管理することで、子どもの個々に応じた指導の質が大きく向上したとの現場先生方の評価です。

「ロケーションフリー」で仕事ができる環境整備も2026年度に導入され、「どこでも1台の端末」で仕事が可能となります。ちなみに川崎市では、先生が一人で3台の端末を使用しています。「学校徴収金システム」も2024年度に導入済みです。(裏面に続く)

教員の一日(例)

● 教員は授業以外にも、翌日の授業準備や会議・打合せ、学校運営に必要な業務のほか、保護者対応や、中学校では、部活動指導業務も、所定の勤務時間外にも対応している状況であり、現状では勤務時間内で全ての活動を取り入れることは難しい状況となっている。



学校と教師の業務の3分類

- 教師が教師でなければできない業務に専念できるよう、服務監督教育委員会は、これらを踏まえて、それぞれの地域における業務の見直しについて、優先的に対応するものから「業務量管理・健康確保措置実施計画」に反映。
- 学校は、学校運営協議会等での議論を経て、優先順位を定めながら、各校の実情に応じた運用を行う。これらの代表例のほか、地域・学校ごとの議論を踏まえて、業務を不断に見直すことが必要。

学校以外が担うべき業務	教師以外が積極的に参画すべき業務	教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務
1 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等	6 調査・統計等への回答 学校への依頼を減らし、デジタル技術を活用し、事務局員を中心に実施	14 給食の時間における対応 食に関する指導については、栄養教諭が対応
2 放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応	7 学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理 学校外では事務局員等が積極的に参画	15 授業準備 教科の初期の2週間を教員業務支援等の支援メニュー実施、デジタル技術の活用を促進
3 学校徴収金の徴収・管理(公会計化等)	8 ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理 教育委員会と連携を図りながら、事務局員等を中心に実施し、地域の実情に応じて外部委託も積極的に検討	16 学習評価や成績処理 採点業務のうち補助が可能な教員業務支援等の支援メニューを中心に実施、自動採点等のデジタル技術の活用を促進
4 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等	9 学校プールや体育館等の施設・設備の管理 教員が授業等に専念して行う日常点検を行い、外部委託等も積極的に検討	17 学校行事の準備・運営 関係機関の日程調整や物産の準備等について、事務局員や支援スタッフとの協働を促進し、必要に応じて外部委託も検討
5 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応	10 校舎の開設・施設 副校長・教頭等に固定せず、機転を利かす見直し等を促進	18 進路指導の準備 就職先に関する情報収集等について、事務局員や支援スタッフとの協働を促進
	11 児童生徒の休み時間における安全への配慮 地域住民等の支援や、輪番等を促進	19 支援が必要な児童生徒・家庭への対応 専門スタッフとの協働等を促進
	12 校内清掃 児童生徒への清掃指導は、地域住民等の支援を得て、回数・範囲の合理化等を促進	
	13 部活動 部活動の地域展開・地域連携を促進	

※朝の時間外や下校時間の後に、学校施設で預かり活動を行う必要がある場合は、学校以外の管理体制を構築

※ 専門スタッフとの協働、デジタル技術の活用や外部委託の促進については、地方公共団体の関係機関が積極的に参画

文部科学省資料より

川崎市教育委員会資料より